



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594  
FAX:097-554-4049

第128号

## 令和3年7・8・9月分交付金精算払単価公表

### トピックス

●令和3年7・8・9月分の単価(精算払)が公表されました。

●7・8・9月分の交付金交付は、11月26日(金)を予定しております。

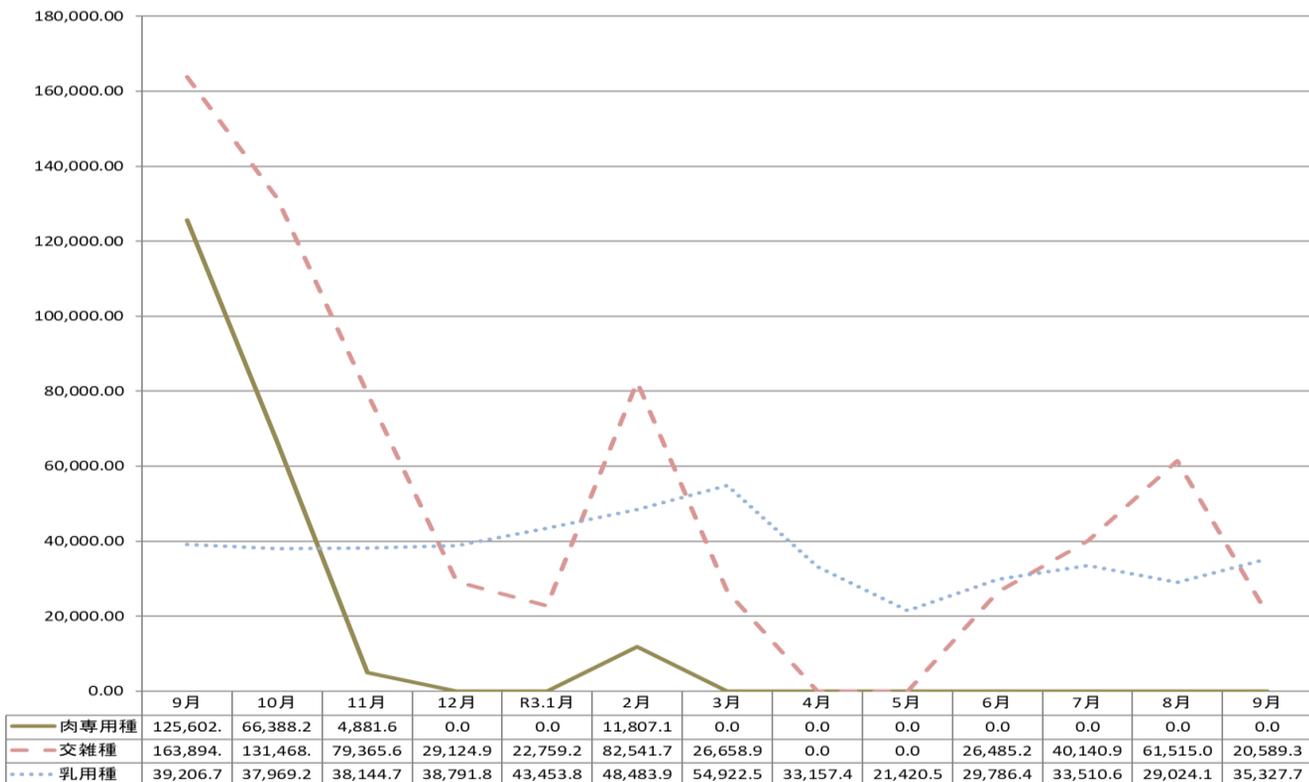
肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和3年7・8・9月分の交付金確定単価が公表されましたので、精算払を行います。

また、9月分の公表された交付金単価は交雑種については、20,589.3円・乳用種については、35,327.7円の交付となります。肉専用種の発動はありませんでした。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和3年7・8・9月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

交付金発動状況

単位:円



## 牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 [https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin\\_00002.html](https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html)

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

## ★畜産物の市況展望【牛肉】

～牛は、外食、観光需要が回復し牛は上昇基調へ～

10月の牛枝肉価格は、緊急事態宣言が9月末をもって解除されたことで一時的な反発をみせた。このまま上昇基調をたどるかにみえたが、9月までの冷凍在庫が重たく、肉食需要は鶏肉や豚肉が主力となっていることが影響し補充買いが一服すると再び下げた。

9月の牛枝肉価格は、和牛は去勢 A5 が前月比 96 円高の 2,683 円（前年同月比 230 円高）、同 A4 は 67 円高の 2,314 円（同 211 円高）、同 A3 は 75 円高の 2,068 円（同 153 円高）、同 A2 は 93 円高の 1,790 円（同 38 円高）。緊急事態宣言解除への期待感で底を脱したが、高級部位を中心に荷動きは鈍く在庫過剰感は解消されなかった。

交雑牛は B4 が 30 円安の 1,719 円（同 197 円高）、B3 が 69 円安の 1,515 円（同 178 円高）、同 B2 は 60 円安の 1,338 円（同 166 円高）。

乳去勢は輸入原料がひっ迫しているため B2 で 214 円安の 1,024 円（同 237 円高）まで戻した。

その後、緊急事態宣言が 9 月末をもって解除され東京都の酒提供と営業時間が緩和され業務用の発注が再開。営業時間の制限はあるもののホテル・レストランに客足が戻った。新規感染者数が大幅に減少、他県への移動も可能になり観光地やテーマパークで多くの人で賑わいを見せており、11 月以降はクリスマスや忘年会等でさらに需要が強まることが期待される。

一方で、量販店の動きは厳しい。消費者の低価格志向が根強いことに加えて、量販店が冬場の販促用に和牛スライス材の凍結在庫を潤沢に抱えていることを勘案すると、「スーパーからはそれほど強い引き合いは見込めない」（卸）。交雑牛も保管事業の対象になっている和牛を活用する向きが強く、もちあい圏内か。

和牛去 A5 で 2,700～2,800 円、A4 で 2,500 円前後、A3 で 2,250 円。交雑種は値動き小さく去勢 B3 で 1,650～1,700 円。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌 11 月号 抜粋）